

3. 「教材文から読み広げ」の取組

(1) 1年の実践「動物の体の本づくり」より

国語科「どうぶつのからだのことをしらべよう」の単元の発展学習として、自分の興味のある動物の体について本で調べ、まとめる活動を取り入れた。教材文を読み、動物の体について読み取った後、学校司書が動物に関係する本の紹介を行った。教材文から、今まであまり読まなかった4類（自然科学）の本への読み広げができた。



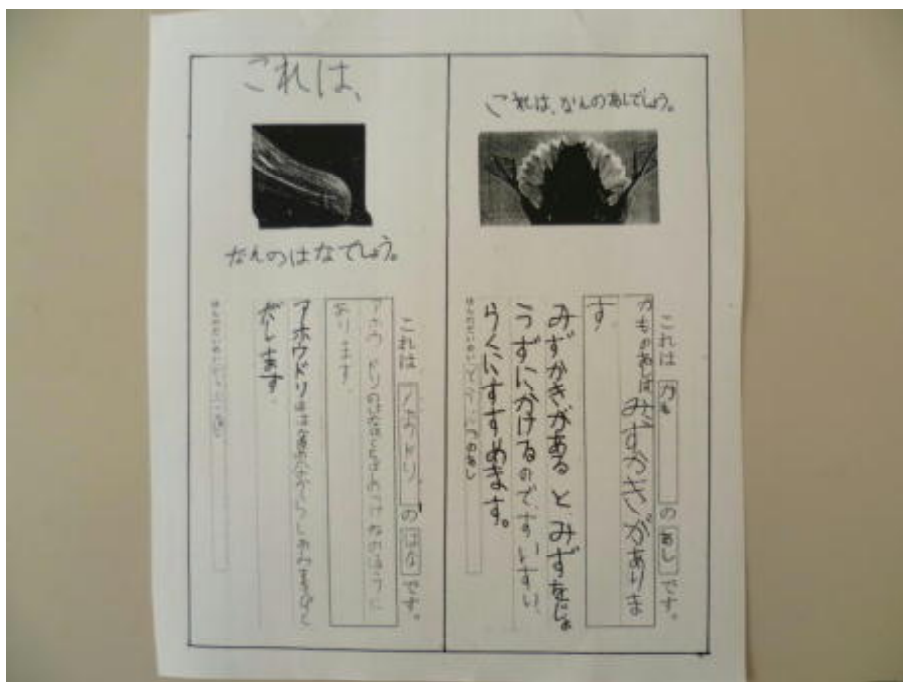
↑ 学校司書の本の紹介

教材文に関連する動物の体について書いてある本を紹介した。本の中の迫力ある写真にびっくりした子どもたち。



↑ 本の読み広げ

学校司書に紹介してもらった本の中から、興味のある本を選び、読み始める子どもたち。集中して読んでいます。



← 1年生が動物の体の本を読んでまとめた文

興味をもった動物の体についてまとめました。いろいろな動物の体の不思議が出てきます。

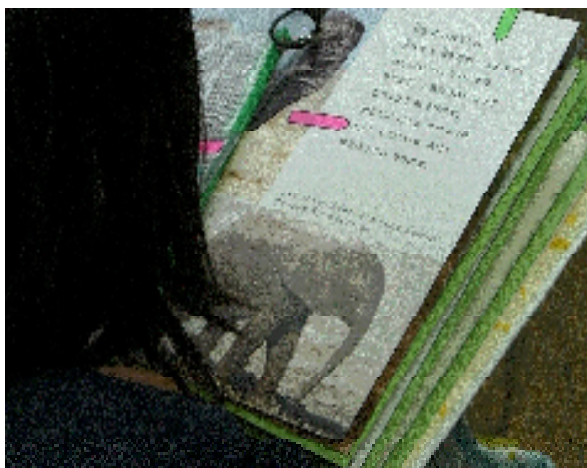


← 1年生が作った「どうぶつのからだ」の本です。

動物の体についての本を何冊も読んでみんなで作りました。動物の本をたくさん読んで、動物の本を読むのが好きになりました。

(2) 2年の実践「動物のひみつクイズづくり」より

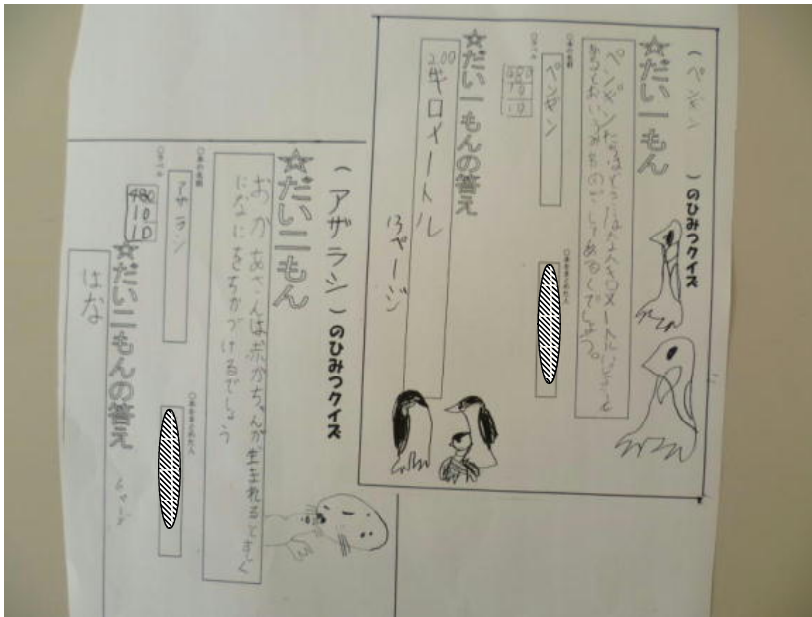
国語科「動物のひみつクイズをつくろう」の単元の発展学習として、自分が選んだ動物のひみつについて本で調べ、クイズを作る活動を取り入れた。まず、動物に興味をもたせるため、学校司書が70冊程度の本を準備し、動物に関する本のブックトークを行った。そして、教材文の学習後、子どもたちは準備しておいた動物の本の中から興味のあるものを選び、動物のひみつクイズを作る活動に取り組んだ。この活動は、4類（自然科学）の本を好んで読むよいきっかけとなった。



← 興味をもって動物の本を読む子ども
たくさん用意された動物の本の中から、自分の興味のある動物の本を選んで、読みました。動物の写真がのっていたり、知らないことが書いてあったりして、びっくりすることも多かったです。

4類の本を読む子ども →
動物のひみつがのっている本は、おもしろいです。動物の本は4類（自然科学）だと分かりました。





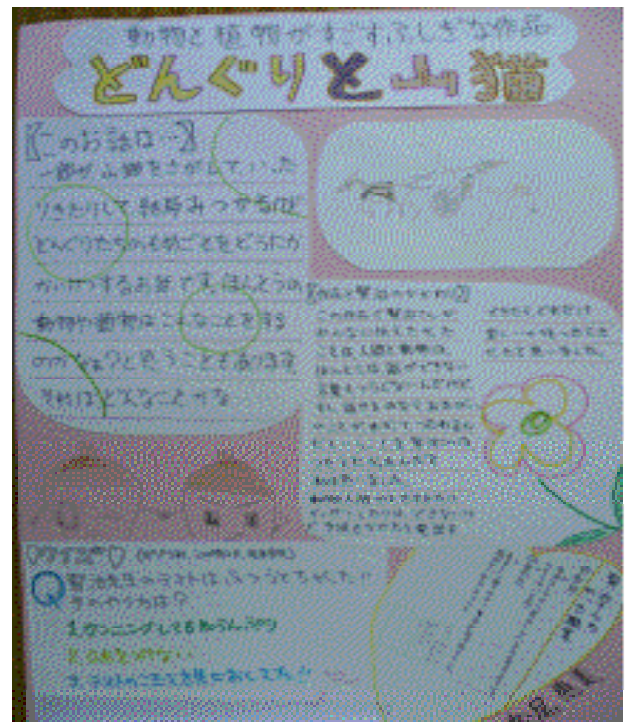
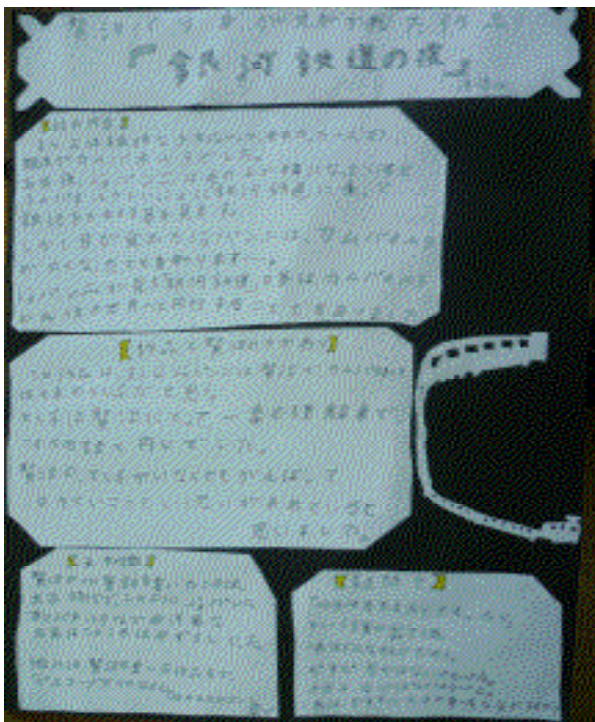
← 2年生の子どもがつくった
動物クイズ

自分が興味をもった動物の本
を読み、そのひみつをクイズに
まとめました。力作ぞろいです。

3) 6年の実践「宮沢賢治ポスターセッション」より

国語科「作家と作品をかかわらせて読もう」の単元の発展学習として、宮沢賢治が書いた
童話を読み、宮沢賢治の作品について、ポスターセッションを行う活動を行った。宮沢賢治
の童話の読み広げを行った。

学校司書の協力を得て、宮沢賢治の伝記や人物を紹介した本、ポプラディア、絵本も含め
て賢治の書いた童話等を集めて教室に置き、より多くの宮沢賢治の童話作品を読むことがで
きるようにした。



↑ 宮沢賢治のポスターセッションの資料

教科書の教材文の読み取り、自分が選んで読んだ童話をもとに作成しました。



←「ポスターセッション宮沢賢治の世界」

自分でまとめた宮沢賢治の童話の世界をポスターセッションで発表しました。

ワークショップ形式の発表では、宮沢賢治の童話の世界を聞き手に伝えようと頑張りました。

